国家公務員共済組合連合会
虎の門病院 広報誌（ティーマガジン）

T-Magazine

Vol. 13

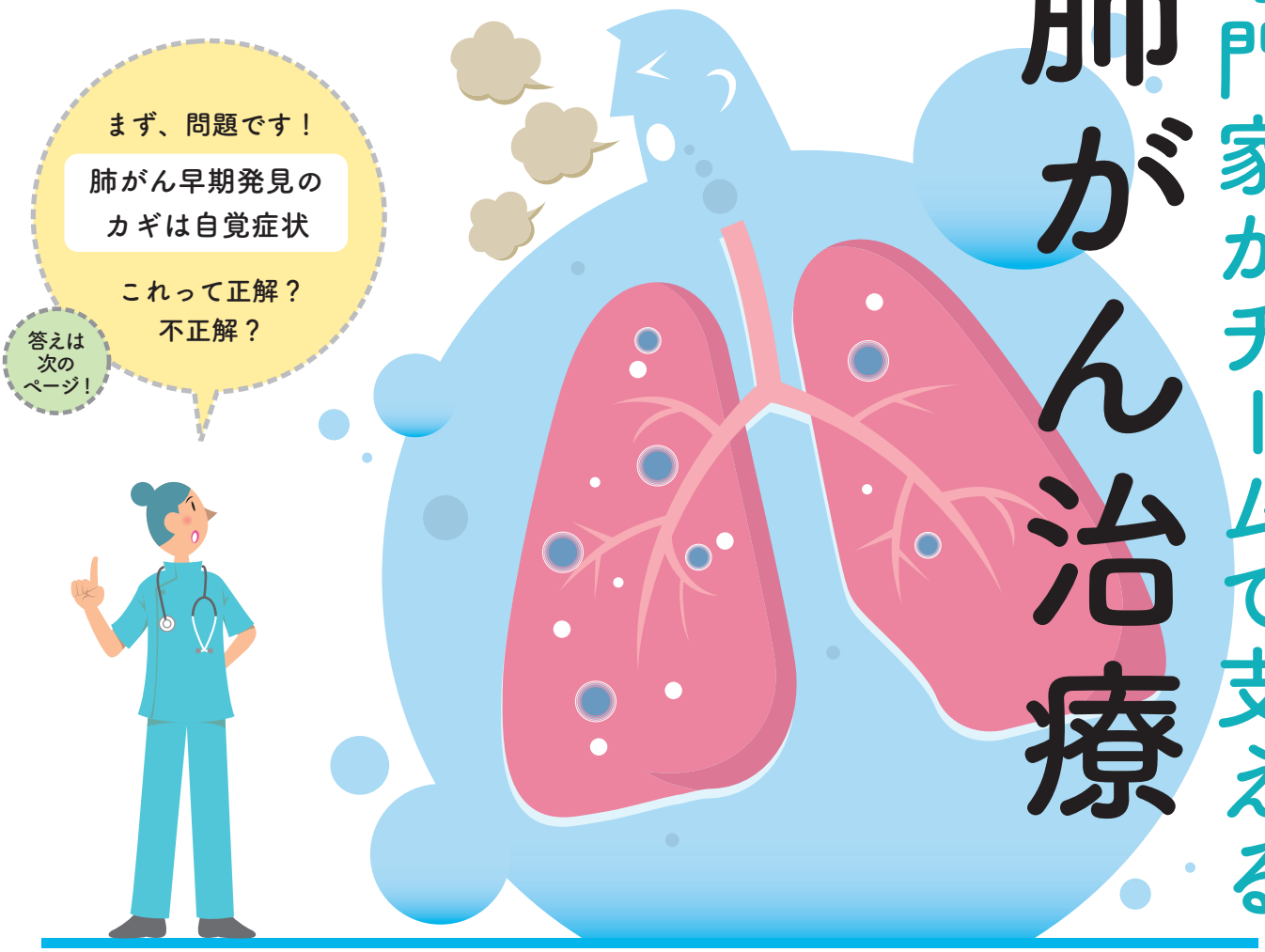
国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

〒105-8470
東京都港区虎ノ門2丁目2番2号
TEL：03-3588-1111(代)

無料
2023.07.01

特集

専門家がチームで支える 肺がん治療



Talk Session
呼吸器センター　内科部長 × 内科医長 × 外科部長
各チームが協力して患者さんをサポート

リエゾン便り　負の感情について

重要な
お知らせ

● 人間ドックに関するお問い合わせ
虎の門病院付属健康管理センター・画像診断センター
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR5階
TEL 03-3560-7777

平日
11:00～16:30（土・日・祝日は休み）
WEB
虎の門病院　人間ドック　検索
https://toranomon-dock.kkr.or.jp/sp/
スマートフォンの方はコチラから →

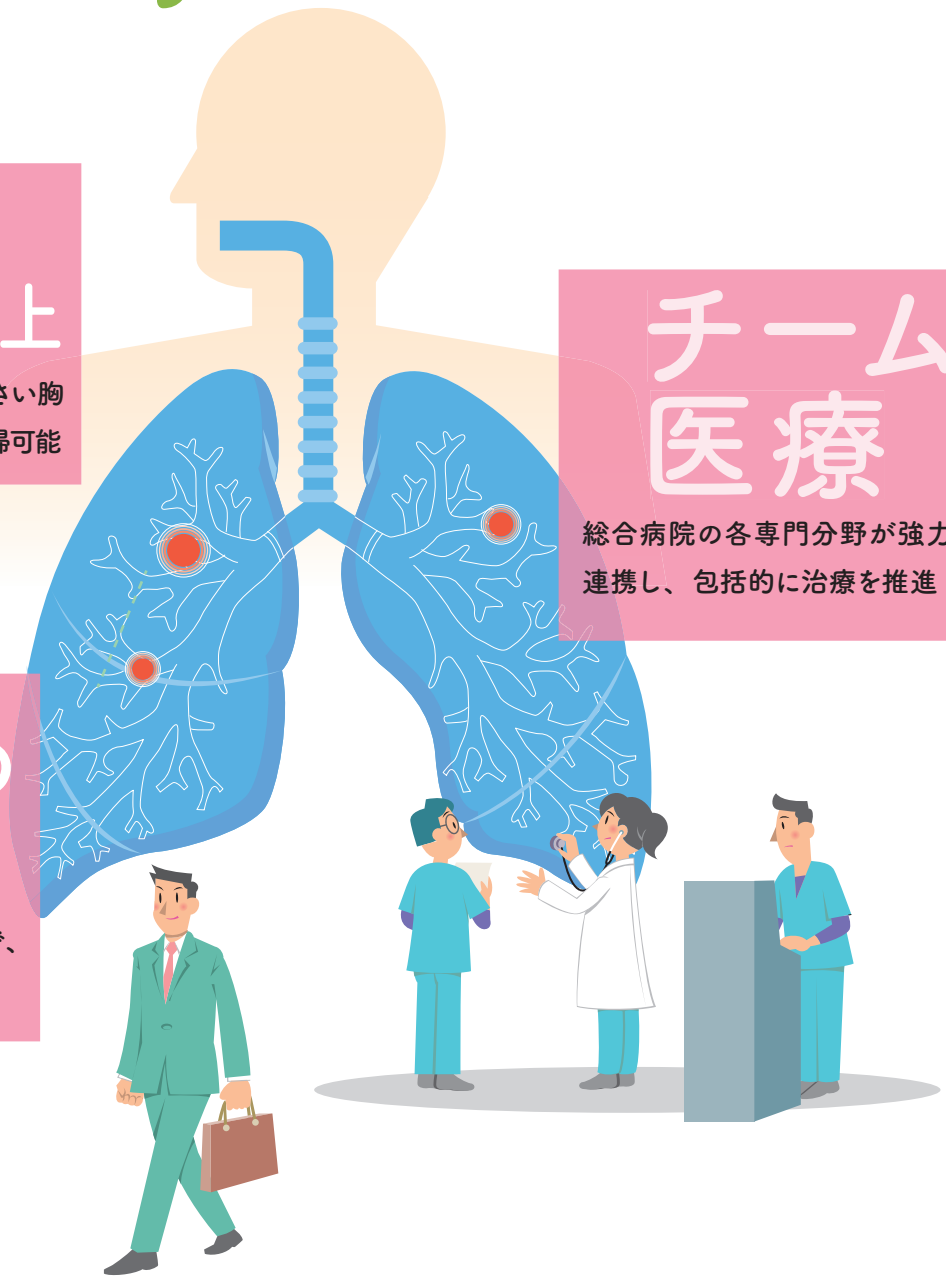
特集

虎の門病院の

やさしいがん治療 2 肺がん

“肺がん早期発見のカギは自覚症状”…これ、皆さんは正解だと思いますか？　不正解だと思いますか？
答えは、「不正解」。肺がんは、特徴的な症状が出ないことも多く、だからこそ、定期的ながん検診が欠かせないがんだといえます。本号では、虎の門病院の「やさしいがん治療」の第２弾として、肺がんの特集をお届けします。

虎の門病院の Keyword



97%以上

肺がん手術の多くを傷の小さい胸腔鏡下手術で実施。早期復帰可能

チーム医療

総合病院の各専門分野が強力に連携し、包括的に治療を推進

仕事との両立

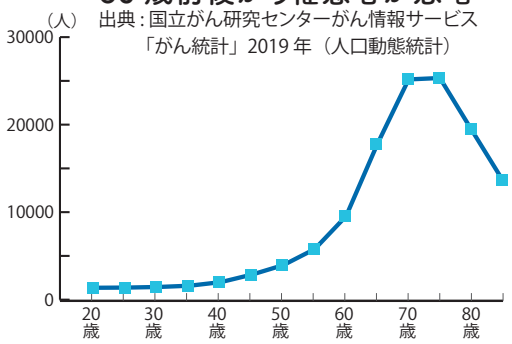
都心の立地と柔軟な治療時間で、働きながら治す患者さんを応援

肺がんってどんな病気？

肺がんは、肺や気管支の細胞ががん化しておこります。咳や血痰、痛み、息苦しさなどの症状がきっかけでみつかる方もいれば、検診や他の病気で通院中にみつかることもあり、症状がないこともあります。治療法は組織型（顕微鏡による分類）や病期（ステージ）によって異なります。一般に、非小細胞肺がん（腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん）と小細胞肺がんでは治療が異なりますが、近年ではより細かい分類により、患者さんごとに治療を選択します。

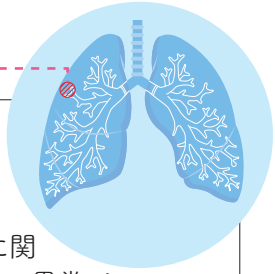
60歳前後から罹患者が急増

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」2019年（人口動態統計）



肺がんの特徴と主な治療法

腺がん



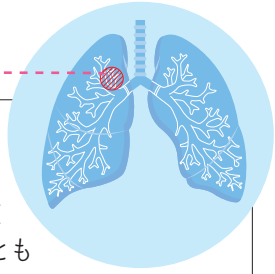
特徴

日本人に最も多い肺がんです。末梢に発生し、症状がない場合も多くみられます。がんの発症に関わる遺伝子（ドライバー遺伝子）の異常がみつかることが他の組織型に比べて多い肺がんです。

治療法

ステージによって手術や放射線治療、薬物療法、またそれらの組み合わせを選択します。薬物療法には、抗がん剤や分子標的薬（遺伝子異常により機能が変化したタンパクを標的とした治療）、免疫チェックポイント阻害薬などがあり、患者さんごとに最も効果が期待できる治療法を選択します。

扁平上皮がん



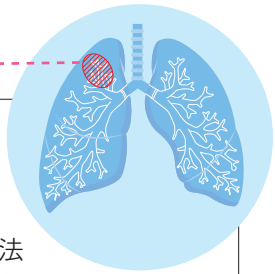
特徴

肺の中枢（肺の根元に近い方）に発生する場合が多く、咳や血痰といった症状が出ることもあります。喫煙との関連が大きく、中高年の方に多くみられます。

治療法

ステージによって手術や放射線治療、薬物療法、またそれらを組み合わせた治療を行います。腺がんに比べると治療の選択にかかわる遺伝子異常がみつかる頻度が低く、全身状態によって抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬を選択することが多くなっています。

大細胞がん



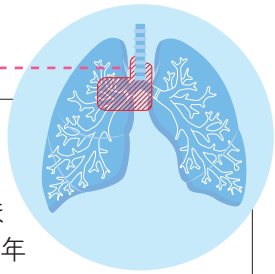
特徴

頻度は数％と稀で、腺がんや扁平上皮がん、小細胞がんの性質を持ちません。他の組織型の診断法の確立により、大細胞がんの頻度は減っています。進行は速く、転移もおこりやすいといわれています。

治療法

他の非小細胞肺がんと同様、ステージによって手術や放射線治療、薬物療法、またそれらを組み合わせた治療を行います。薬物療法では非小細胞肺がん、非扁平上皮がんとして治療を検討しますが、薬物療法や放射線治療が効きにくい傾向があります。

小細胞がん



特徴

肺がんの10～15％を占め、細胞が小さいという特徴があります。喫煙に関連するため中高年の方に多い肺がんです。進行が速く、他の肺がん（非小細胞肺がん）と治療法が異なります。

治療法

ステージによっては手術を行うこともありますが、基本的には薬物療法（特に抗がん剤）が必要となります。病変のある範囲により「限局型」と「進展型」に分けられ、可能であれば、限局型では放射線治療と薬物療法を組み合わせ、進展型では薬物療法のみの治療を選択します。

チームで取り組む 虎の門病院の肺がん治療

虎の門病院における肺がん診療は、多くの専門性の高い各診療科や部署が協力して行っています。診断、積極的な治療、緩和治療、社会的調整など、各段階で必要なチーム医療を展開します。また、他の病気があったり、仕事をしながらであったり、小さなお子さまがいらっしゃったりと、患者さんごとにおかれている状況も異なります。多くの部署、診療科と連携し、それぞれの患者さんに寄り添った治療法を提案します。さらに、治療中におこるさまざまな副作用に対しても各診療科で協力して対応し、総合病院ならではの肺がん診療を行っています。

呼吸器センター内科

各科との密接な連携を武器に、患者さんにベストな診療・治療を推進

内科が特に行う肺がんの薬物療法は急速に進歩しています。近年では、抗がん剤に加えて分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬といった薬剤が増えただけでなく、薬剤どうしや、手術や放射線治療との組み合わせなど治療法の選択肢が広がっています。肺がんの治療法は呼吸器センター内科・外科、放射線治療科などで相談して決めていますので、最初にどの科を受診したとしても適切な治療法を提案します。また間質性肺炎やその他肺がん以外の病気とともに肺がん診療を受けていただいている方も多く、それぞれ高い専門性を持ったチームで診療に取り組んでいます。

呼吸器センター内科、内科医とスタッフ

呼吸器センター外科

患者さんの負担が少ない胸腔鏡下手術により、早期の社会復帰を支援

1999 年 4 月～ 2023 年 3 月に傷の小さい胸腔鏡下手術を 9000 例以上行った実績のある呼吸器外科チームです。肺がんは c2B 期までを、3mm の細径創部を含めた 3 か所の孔で行う胸腔鏡下手術（ロボット支援胸腔鏡下手術を含む）で 97％以上の手術を日々行っています。10mm 以下の早期肺がん、両側の多発肺がん、気管支形成を必要とする進行肺がんまで対応が可能です。総合病院として自走式 CT を併用する最新のハイブリッド手術室や、さまざまな併存疾患に対する手術前後の安心なサポートも特徴です。初診外来より 2 週間以内での手術、術後 3 ～ 6 日での退院かつ社会復帰が基本的に可能なので、小さい傷で、痛くなく、早く、元の生活に戻りたい方はいつでもご相談ください。

呼吸器センター外科医と手術室看護師

放射線治療科

治療効果の高い放射線治療を行っています

放射線治療は、遺伝子に傷をつけてがん細胞を壊す治療法です。治療は1日1回、平日5日間行い、1回の治療は約15分です。早期の非小細胞肺がんで手術ができない人には、治療効果の高い体幹部定位放射線治療を行います。治療は4回行い、1週間で終わります。胸のリンパ節まで広がる肺がんには、抗がん剤と同時に強度変調放射線治療（IMRT）を行います。IMRTは肺や食道の副作用を抑えつつ、がんに強い放射線をあてることができます。その他、骨や脳などの転移に対しても、がんをなくしたり、つらい症状を和らげるために放射線をあてることがあります。

当院の治療装置は、CTでがんを確認しながら治療するので、正確な治療ができます。

リハビリテーション部

呼吸筋の鍛え方を指導。日常生活への復帰を継続サポート

呼吸筋を鍛える＝肺を最大限に活用し、効率よく呼吸できる状態にすることと同義です。日頃から横になる時間を減らし、猫背を正し、胸周りの柔軟性を高め、肺を最大限に膨らませられる状態を意識することが大切です。また同量の空気でも、浅く速い呼吸より、深くゆっくりとした呼吸の方がより多くの空気を取り込めます。平時よりリラックスして深い呼吸のリズムを心掛けましょう。全身運動を行うことも肺活量を高めることにつながります。どの治療を選択するにしても、常に呼吸を意識し、全身の体力を高めておくことで治療成績が高まることがわかっています。

左上：腹式呼吸練習、右上：呼吸筋ストレッチ、左下：筋力練習、右下：歩行練習

がん相談支援センター

がんに関する悩み（または不安）や心配事を打ち明けられる場所

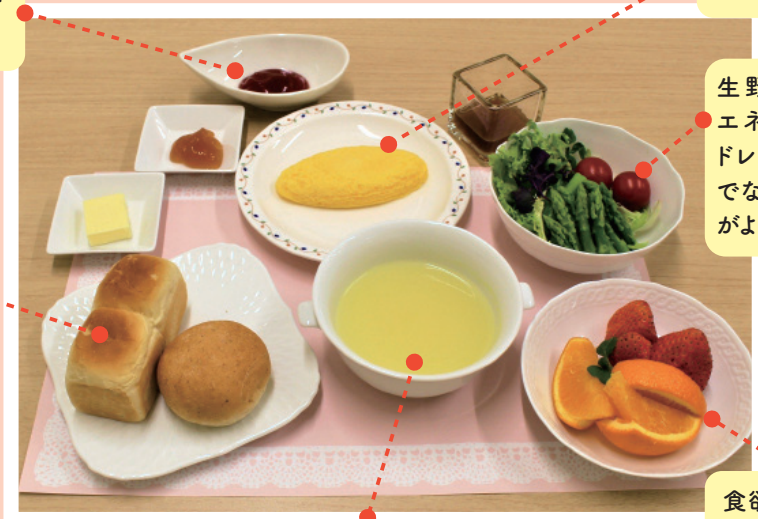
TEL **03-3588-1171**（直通）

受付時間：平日 9:00 ～ 16:00

虎の門病院 栄養士の 知恵袋

化学療法室での栄養指導

手軽にエネルギー UP を図るポイント！



オムレツのソースはケチャップの他にもミートソースやホワイトソースなどもよいでしょう。

チーズや生クリームを入れるとエネルギー UP！ 風味も追加できます。

生野菜も比較的好まれます。エネルギー UP を図るなら、ドレッシングはノンオイルタイプでないものやマヨネーズの使用がよいでしょう。

ジャムやバターをたっぷりつけたトーストもよいですが、バターが練り込まれたひと口サイズのパンや甘い菓子パンは手軽にエネルギーの補給ができます。

市販のインスタントスープもお湯だけで溶かすよりも半分牛乳を使用すればエネルギー UP できます。

食欲がないときにも果物は好まれることが多いです。旬の果物で季節感も出してみましょう。

化学療法の治療を行うベッドサイドにお伺いし、栄養指導を行っています。多くは化学療法に伴う副作用で食事が食べられないとか、下痢が続いてつらいとか、体重が減ってしまったなどといったことで、食事にかかわる問題を抱えている方がいらっしゃいます。食べられるもの、現在の食事を確認し、お一人おひとりに合った食べやすい方法や工夫をお伝えしています。食が細くなってしまった方には各種の栄養補助食品をご紹介することもあります。食事は生活の一部ではありますが、栄養管理は治療の一部にもなり得ます。毎日の食事に少しでも不安を抱えている方は、担当の医師もしくは化学療法室の看護師にぜひお声がけください。

また、点滴での化学療法は行っていないけれど、内服の抗がん剤の影響や放射線治療の影響で食事に対する不安を抱えている方はいらっしゃいませんでしょうか？　毎週水曜日の午前中には、抗がん剤副作用・合併症マネジメントセンターの取り組みの一つ、「腫瘍栄養外来」として、がん患者さん専用の栄養指導枠を設けています。予約制となっていますので、気になる方は担当の医師にお声がけください。

Talk Session

トークセッション

呼吸器センター　内科部長 × 内科医長 × 外科部長

総合病院ならではの多彩な診療科と専門性、そして垣根を越えて頼みやすい関係性が、呼吸器センターのチーム医療の強み

呼吸器センターのチーム医療の特色

三ツ村：この 4 月に赴任してきて、この規模の病院にしてはすごいと思ったのが、毎週行われるカンファレンス（患者さんに関する打ち合わせ）に、呼吸器センター内科、外科だけでなく、放射線治療科や放射線診断科、病理診断科など呼吸器以外のさまざまな診療科も集まっていることですね。

玉岡：非常によく連携がとれていますよね。

藤森：虎の門病院は、総合病院としてたくさんの診療科があり、それぞれ非常に高度な医療を行っていますが、昔より各々の診療科の間に垣根がないんですよ。当院は、肺の基礎疾患や糖尿病、心臓病などにより他院で治療が難しいと判断された患者さんも多く見えますから、そうした疾患専門の先生にお願いすることもよくあるのですが、たとえ夜遅くでも連絡すれば、いくらでも対応してくれます。

玉岡：われわれから外科に手術をお願いするときも、実際に手術してもらえるまでの時間が日本で一番と言えるくらい速いです。

藤森：それは虎の門病院自体がそういう意識を持った病院なんですよ。大きな病院ですと手術は 1 か月待ちというケースも多いと思いますが、われわれ呼吸器外科では、精密検査を済ませて受診された患者さんなら 1 週間後、そうでない患者さんでも 2 週間程度で実施できます。年間 500 件くらい手術を行いながら早期に対応できるには、診療科の手厚いサポートがあってこそなんです。

三ツ村：頼みやすいだけでなく、それぞれの診療科の専門性が非常に高いことも強みだと思いますね。肺がんの薬物療法についても、最近、薬の種類が増え、選択肢が急速に広がっています。それとともに副作用の種類も増えていて、例えば皮膚科とか内分泌代謝科、腎臓内科、消化器内科、心臓などの循環器科など、いろいろな診療科で診てもらわないといけないことが多くなっている。そんなときそれらの診療科の水準が非常に高いことはとても頼りになりますね。

玉岡：患者さんにとっても安心ですし、私たちも安心して自分の専門の治療に専念できる。何かあったときのサポートを受けやすいというのは、本当にありがたいことです。

チームから患者さんに望むこと

三ツ村：今は、治療だけでなく、治療を決めるための診断も、すごく複雑化していて、診断をしている段階からチームが組まれます。そして治療が始まれば、例えば合併症があれば他の診療科のドクターとか、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー（生活相談員）など、患者さんごとに必要なメンバーで、チームが組まれます。毎週のカンファレンスでしっかり情報共有しながら治療を進めていくので、患者さんには安心して治療に臨んでほしいですね。あとは、仕事や家庭の困り事なども看護師などに教えてくだされば、われわれドクターもそれに対してできる限り良い方法を探して、一緒に考えていけると思います。

藤森：私も、コミュニケーションはいちばん大事だと思っています。私は、呼吸器センター外科で手術される患者さんの、ほぼすべてに術前の病状説明をしています。外科は内科ほど患者さんとの時間をとれませんから、聞きたいことを聞いてもらうには、これだけは私がしないといけないと思っています。

玉岡：患者さんのなかには、自分もしっかりがんの勉強をしていかなくちゃと思われる方もおられるかもしれませんが、私たちは本当に良いと考えられる治療を勧めますし、必要な情報はもちろん、事実もしっかりお伝えします。だから予備知識なしに来ていただいても大丈夫だということもお伝えしたいですね。

われわれ呼吸器センターは、最初の受診窓口が内科であれ外科であれ、チームで患者さんにとって最善の治療方針を提案しますので、どうか安心して虎の門病院にいらしてください。

リエゾンチームから
みなさまへ

リエゾン便り

テーマ
負の感情

大切な人や自分自身が、重大な病気であると告げられた時、冷静でいられる方は、どれくらいいるのでしょうか？

「頭が真っ白になった」「どうやって家に帰ったか覚えていない」。多くの方から、そんな言葉を耳にします。大きすぎる衝撃に、途方にくれ、私たちの心は深く傷つきます。悲しみや恐れ、不安など負の感情が押し寄せます。

そんな時、負の感情を抑え込み、弱さを見せてはいけないと、気丈に振る舞う方がおられます。ですが、どうか忘れないでください。負の感情を抱き、それを表出することは、その人の弱さではありません。「悲しみ」「泣く」行為は決して悪いことではないのです。

負の感情には、私たちの心を癒す力があります。きちんと悲しむことで、人はその出来事を受け止め、受けいれていくプロセスを進みます。ですから、どうか、あなたの心にふたをしないでください。

最後にもう１つ、お伝えしたいメッセージがあります。一人で歯を食いしばって頑張らないでほしい。あなたの抱えている負の感情を誰かに話せたら、気持ちが少し楽になります。どうぞ、私たち医療者も頼ってください。私たちは、患者さんやご家族の力になりたい。やり場のないつらい気持ち、どうしようもない感情を、一緒に悩み、考えていきましょう。

悲しみの中にいるあなたへ、このメッセージが届くよう願いを込めて。

それでは、この辺で。　　リエゾンチーム

＊清水研　『絶望をどう生きるか』　幻冬舎　参照

リエゾンとはフランス語で「つなぐ」という意味です。
リエゾンチームは、精神科医師、精神看護専門看護師、臨床心理士で構成されています。主に、入院中の患者さんやご家族の心理的サポートをしています。

● ご来院の患者さんへ

<正面入口・再来受付・採血開始時間>　平日：7時 30分

※採血室での対応は 16 時 30 分までとなります。それ以降は各階の処置室で対応いたします。
※体調不良の方、発熱あるいは呼吸器症状のある方は、職員にお声がけください。

皆さまのお声をもとにより良い広報誌を作成してまいります。
アンケートにご協力ください

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 TORANOMON HOSPITAL
〒105-8470　東京都港区虎ノ門2丁目2番2号
TEL：03-3588-1111(代)
https://toranomon.kkr.or.jp/

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 分院 TORANOMON HOSPITAL KAJIGAYA
〒213-8587　神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1丁目3番1号
TEL：044-877-5111(代)
https://toranomon.kkr.or.jp/kajigaya/

発行日：2023 年 6 月
無断転載禁止

国家公務員共済組合連合会　虎の門病院　広報誌 T-Magazine
発行・虎の門病院